

参考資料

京都府内各市及び最近宣言した各市の平和都市宣言等

平成22年8月6日（金）13時30分
京田辺市役所3階305会議室

京田辺市平和都市推進協議会
非核平和都市宣言起草委員会

京都府内各市及び最近宣言した各市の平和都市宣言等

市名	宣言文
京都市	<p style="text-align: center;">宣言</p> <p>京都市は、昭和 25 年 10 月 22 日制定公布された世界恒久平和の理想達成を目的とする京都国際文化観光都市建設法により、爾来平和都市の建設に邁進してきた。</p> <p>いま、第 3 回世界連邦アジア会議が、京都市で開催されるにあたり、ここに改めて、平和都市たることを宣言し、全世界の人々と相携えて、その崇高なる理想の実現を期す。</p> <p style="text-align: right;">昭和 32 年 10 月 18 日 京都市</p>
	<p style="text-align: center;">世界文化自由都市宣言文</p> <p>都市は、理想を必要とする。その理想が世界の現状の正しい認識と自己の伝統の深い省察の上に立ち、市民がその実現に努力するならば、その都市は世界史に大きな役割を果たすであろう。われわれは、ここにわが京都を世界文化自由都市と宣言する。</p> <p>世界文化自由都市とは、全世界のひとびとが、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、平和のうちに、ここに自由につどい、自由な文化交流を行う都市をいうのである。</p> <p>京都は、古い文化遺産と美しい自然景観を保持してきた千年の都であるが、今日においては、ただ過去の栄光のみを誇り、孤立して生きるべきではない。広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市でなければならない。われわれは、京都を世界文化交流の中心にすえるべきである。</p> <p>もとより、理想の宣言はやさしく、その実行はむずかしい。われわれ市民は、ここに高い理想に向かって進み出ることを静かに決意して、これを誓うものである。</p> <p style="text-align: right;">昭和 53 年 10 月 15 日 京都市</p>
	<p style="text-align: center;">非核、平和都市宣言</p> <p>真の恒久平和は、人類共通の念願である。</p> <p>しかるに、核・軍備の拡張は、依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。</p> <p>我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならないと、全世界の人々に訴えるものである。</p> <p>ここに我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活の中に生かし、子々孫々継承するために、非核、平和都市たることを厳粛に宣言するものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 京都市は、非核三原則（作らず、持たず、持ち込ませず）の完全な遵守を求める。 1 京都市は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を求める。 1 京都市は、核兵器及び核兵器積載の疑いあるものの京都市域への通過、搬入、飛来、貯蔵、滞留を拒否する。 1 京都市は、核兵器を生産、配備させない。 1 京都市は、戦争に協力する事務は行わない。 <p style="text-align: right;">昭和 58 年 3 月 23 日 京都市議会</p>

<p>福知山市</p>	<p style="text-align: center;">恒久平和都市宣言に関する決議書</p> <p>人類共通の願いである恒久平和の実現は、現代に生きるわれわれの責務である。 今日の世界の情勢は、依然として核戦争の危機をはらみ、平和が脅かされている。 今こそ、われわれは、あらゆる国の核兵器の廃絶と核戦争の阻止のため努力しなければならない。</p> <p>市制施行50周年を迎えるに際し、福知山市は、非核三原則の遵守のもと真の世界平和を希求し、ここに恒久平和都市たることを宣言する。</p> <p style="text-align: right;">1987年9月25日 福知山市議会</p>
<p>舞鶴市</p>	<p style="text-align: center;">核兵器廃絶・平和都市宣言</p> <p>世界の恒久平和は全人類の共通の願いである。 舞鶴市は、市是とする「平和な産業港湾都市」の実現を目指し、常に我が国の国是である「核兵器は、持たず、つくらず、持ち込ませず」との「非核三原則」が厳正に遵守されることを強く求め続けている。</p> <p>これをさらに一歩進めて、あらゆる国の核兵器が廃絶され、世界の恒久平和が実現されることを願い、ここに「核兵器廃絶・平和都市」を宣言する。</p> <p style="text-align: right;">平成2年3月24日 舞鶴市議会</p>
<p>綾部市</p>	<p style="text-align: center;">綾部市の「世界連邦都市宣言」</p> <p>綾部市は日本国憲法を貫く平和精神に基づいて世界連邦建設の趣旨を賛し全地球の人々と共に永久平和確立に邁進することを宣言する</p> <p style="text-align: right;">昭和25年10月14日 綾部市議会</p>
<p>宇治市</p>	<p style="text-align: center;">核兵器廃絶平和都市宣言</p> <p>真の恒久平和は、人類共通の念願である。 我々は世界最初の被爆国民として、核兵器の恐ろしさを身をもって体験している。この地球上に再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。その為あらゆる国の核兵器の廃絶と全面軍縮を全世界の人々に訴えるものである。</p> <p>日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を市民生活の中に生かし、子々孫々に継承するため、ここに核兵器廃絶平和都市たることを宣言する。</p> <p style="text-align: right;">昭和62年10月8日 決議 宇治市議会 昭和62年10月16日 告示 宇治市</p>
<p>宮津市</p>	<p style="text-align: center;">非核平和都市宣言</p> <p>真の恒久平和は、人類共通の念願である。しかるに、核・軍備の拡張は依然として強まり、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の今なお続く苦しみをかみしめ、この地球上に再び広島、長崎の惨禍を繰り返させてはならないと、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を全世界の人々に訴えるものである。また、非核（作らず、持たず、持ち込ませず）の完全な遵守を求め、戦争の悲惨さを伝え、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活に生かし、子々孫々継承するため、ここに非核平和都市たることを宣言する。</p> <p style="text-align: right;">昭和62年3月27日 宮津市</p>

<p>亀岡市</p>	<p style="text-align: center;">「世界連邦・非核平和都市」宣言</p> <p>世界の恒久平和は、人類共通の切なる願いです。</p> <p>核兵器は、その願いを妨げる脅威でしかありません。</p> <p>私たちが求めるのは、あらゆるいのちの営みを一瞬のうちに奪ってしまう核兵器の廃絶であり、その存在を許さない世界の実現です。</p> <p>私たちは、世界連邦の意志を受け継ぎ、「非核三原則」の堅持を訴え続けます。それらは、人と人との絆を深め、いのちの尊厳を自覚して、自然と人間が共生する世界を築いていくための普遍の原理であるからです。</p> <p>私たちは、ふるさとを愛し、人を愛し、戦争のない平和で美しい地球を子どもたちに伝えるため、願いを同じくする世界の人びとと共に前進することを誓い、ここに、亀岡市を「世界連邦・非核平和都市」とすることを宣言します。</p> <p style="text-align: right;">平成 22 年 6 月 10 日</p>
<p>城陽市</p>	<p style="text-align: center;">○城陽市平和都市宣言</p> <p style="text-align: right;">昭和 61 年 12 月 23 日 告示第 58 号</p> <p>世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いであり、核兵器の廃絶と軍備の縮小は、全人類ひとしく希求しているところである。</p> <p>わが国は、唯一の被爆国として、非核三原則の堅持はもとより、再び戦争による惨禍を繰り返してはならない。</p> <p>国際平和年にあたり、わが城陽市は、憲法の本質に基づいて自由と平和を愛し、思想・信条を越えて、永遠の平和都市であることをここに宣言する。</p>
<p>向日市</p>	<p style="text-align: center;">世界平和都市宣言</p> <p style="text-align: right;">昭和 59 年 11 月 3 日告示第 38 号</p> <p>世界の恒久平和を実現することは、全人類共通の願いである。</p> <p>しかるに、今なお核軍備の拡張は、依然として行われ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。</p> <p>我々は、今こそ真の恒久平和達成のため、唯一の被爆国民として、全世界に核兵器の廃絶と軍縮を求め、戦争による惨禍を繰り返させてはならない。</p> <p>この人類共通の大義に向かって不断の努力を傾注することは、我々に課せられた責務である。</p> <p>向日市は、長岡京遷都 1200 年にあたる本年、人類永遠の平和樹立の決意を表明し、ここに世界平和都市であることを宣言する。</p> <p style="text-align: right;">昭和 59 年 11 月 3 日 向日市</p>

<p>長岡京市</p>	<p style="text-align: center;">いのち輝く長岡京市平和都市宣言</p> <p>こころ豊かで、ゆとりのある平和な暮らしは、私たちの願いです。</p> <p>人類はいま、冷戦の時代から平和と共生の時代へと踏み出したこの歩みを、さらに確かなものとするために、私たちは薄れつつある戦争の記憶を常に新たにし、その悲惨と災禍の歴史から、平和の尊さをくみとっていかなければなりません。</p> <p>「歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議」を踏まえ、生きとし生けるものが調和し、共生しあって、かけがえのない地球の環境が守られ、人権が尊重され、いのち輝いてこそわが国は真の恒久平和を築くことができます。</p> <p>新たな 21 世紀を迎えるにあたり、私たち長岡京市民は、それぞれの立場から貢献することを誓い、ここに「いのち輝く平和都市」を宣言します。</p> <p style="text-align: right;">2000 年 12 月・長岡京市</p>
<p>八幡市</p>	<p style="text-align: center;">八幡市非核平和都市宣言（昭和 57 年 9 月 28 日制定）</p> <p>恒久の平和と安全は人類共通の念願であり、この至高の目標の達成なくしては、八幡市がめざしている「緑ゆたかな文化の都市」、「心のかよう福祉の都市」の実現もまたあり得ない。</p> <p>われわれ八幡市民は、いのちの尊厳を深く認識し、非核三原則が完全に実施されることを願い、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く全世界のひとびとに訴えるとともに、この人類普遍の大義に向かつて不断の努力を続けることを決意した。</p> <p>ここに、八幡市を「非核平和都市」とすることを宣言する。</p>
<p>京丹後市</p>	<p style="text-align: center;">○京丹後市「平和都市宣言」に関する決議</p> <p style="text-align: right;">平成 18 年 3 月 29 日</p> <p>世界の恒久平和と安全は、人類共通の念願であり、平和を愛する諸国民は、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く希求するところである。</p> <p>我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさと戦争の悲惨さをかみしめ、非核三原則の厳守はもとより、この惨禍を再び繰り返してはならないことを、全世界の人々に訴えるものである。</p> <p>京丹後市は、恒久平和の基本理念のもと、自由と平和の構築を子々孫々に継承するため、ここに「平和都市」を宣言する。</p> <p>以上、決議する。</p> <p style="text-align: right;">平成 18 年 3 月 29 日 京丹後市議会</p>
<p>南丹市</p>	<p style="text-align: center;">南丹市「平和都市宣言」</p> <p>世界の恒久平和は、人類共通の念願である。しかしながら、核軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和、人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。</p> <p>我々は、世界最初の被爆国民として、核兵器の恐ろしさと今なお続く被爆者の苦しみをかみしめ、この地球上に再び核兵器の惨禍を繰り返させてはならない。</p> <p>我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を日常の市民生活の中に生かし、非核三原則の完全な遵守を継承するため、ここに「平和都市」を宣言する。</p> <p>以上、決議する。</p> <p style="text-align: right;">平成 19 年 12 月 21 日 南丹市議会</p>

木津川市	<p style="text-align: center;">木津川市「非核・平和都市」宣言</p> <p>世界の恒久平和は、人類共通の願いである。</p> <p>しかし、現在この地球上には数多くの核兵器が存在し、人類の生存や自然環境に大きな不安と深刻な脅威をもたらしている。</p> <p>我々は、世界最初の核被爆国民として、核兵器の恐ろしさや被爆者の今なお続く苦しみを全世界の人々に訴え、二度と広島、長崎のあの惨禍を繰り返させてはならない。</p> <p>我々は、日本国憲法に掲げられた恒久平和の理念を生かし、継承する。</p> <p>ここに木津川市は、新市誕生を機に非核三原則の遵守を求め、核兵器のすみやかな廃絶と恒久平和を強く訴え、「非核・平和都市」を宣言する。</p> <p style="text-align: right;">平成 19 年 10 月 3 日 京都府木津川市</p>
-------------	--

<p>南砺市 (富山県)</p>	<p style="text-align: center;">南砺市平和都市宣言</p> <p>南砺市は 世界遺産の五箇山合掌造り集落 緑につつまれた散居の里 伝統文化が薫るまちなみ 日本の美しい原風景が息づく故郷ふるさとです 先人から受け継いだ豊かな自然と文化を生かし 世界の人々との友好親善 相互理解を深めて平和に暮らしたい 南砺市民はそのように願っています しかし今も 世界の各地で頻発している武力紛争により 生命や尊厳を踏みにじる行為が繰り返されるなか 地上に存在する核兵器は 人類の生存にとって大きな脅威です 私たちは 世界でただ一つの被爆国の国民として 被爆の恐ろしさと悲惨さを 未来を託す子どもたちに語り伝えたい 南砺市民は 非核三原則の大切さを訴え 核兵器のない平和な世界が実現することを願い ここに平和都市を宣言します <p style="text-align: right;">平成22年月6月22日</p> </p>
<p>北見市 (北海道)</p>	<p style="text-align: center;">核兵器廃絶平和都市宣言</p> <p>世界の恒久平和は、戦争のない豊かで安全な社会を築くことであり、人類共通の願いです。 この切なる願いにもかかわらず、この地球上には大量の核兵器が蓄積され、今なお、その脅威から解放されていません。 ひとたび核兵器が使用されれば、大量の死傷者やその後遺症に苦しむ人々を生み出すことは明らかであり、核兵器の使用は不法かつ道義にそむく人類社会に対する犯罪といわなければなりません。 世界唯一の被爆体験国である日本に住む私たちは、再び過ちを繰り返させないために、核兵器の廃絶を訴えつづけ、人類が平和に暮らせる世界が実現されることを求めます。 私たち北見市民は、澄みきった青い空のもと、大雪連峰とオホーツク海にいだかれたみよりの大地を大切に守り、幸せな市民生活を子孫に伝えるために、日本国憲法がかかげる平和の理念に基づき、非核三原則を守ることを誓い、ここに核兵器廃絶を求める平和都市であることを宣言します。 <p style="text-align: right;">2009年（平成21年）8月6日 北見市</p> </p>
<p>宍粟市 (兵庫県)</p>	<p style="text-align: center;">核兵器廃絶・平和都市宣言</p> <p>恒久平和は、私たち人類共通の願いであり、広島、長崎の惨禍を二度と再び繰り返してはならない。 宍粟市は、市民ひとり一人の先人を偲ぶ悲しみと平和を願う心を集め、ここに核兵器廃絶・平和都市を宣言する。 <p style="text-align: right;">平成22年3月26日 宍粟市議会</p> </p>

<p>北九州市 (福岡県)</p>	<p style="text-align: center;">北九州市非核平和都市宣言</p> <p>平和な世界の実現は、人類共通の願いです。</p> <p>私たちの国、日本は、世界で唯一の核兵器の被爆国として、この地球上で再び広島や長崎の惨禍を繰り返してはならないことを、世界の人々に強く訴え続けてきました。</p> <p>私たち北九州市民は、長崎に投下された核兵器の第一目標が小倉であったことを重く受け止め、核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを、次の世代に伝え、核兵器のない、戦争のない、平和な世界を築いていかなければなりません。</p> <p>よって、私たちは、命と平和の大切さを深く認識し、核兵器の廃絶と平和な世界の実現のために歩み続けることを誓い、ここに北九州市を非核平和都市とすることを宣言します。</p> <p style="text-align: right;">平成22年2月10日 北九州市</p>
<p>みよし市 (愛知県)</p>	<p style="text-align: center;">みよし市平和都市宣言</p> <p>世界の恒久平和は、私たち人類共通の願いです。</p> <p>私たちは、わが国が核兵器による攻撃を受けた唯一の国家として、非核三原則を掲げ、核兵器廃絶を全世界に訴え続け、このかけがえのない美しい地球と、これまで人類が築きあげた偉大な遺産を後世へ引き継がなければなりません。</p> <p>市制施行を機に、みよし市は、市民とともに、日本国憲法に基づいて、世界平和を願うすべての国の人々と手を携え、戦争の惨禍を二度と繰り返すことのない社会と人類の恒久平和の実現をめざす「平和都市」であることを宣言します。</p> <p style="text-align: right;">平成22年6月11日 愛知県みよし市</p>
<p>三木市 (兵庫県)</p>	<p style="text-align: center;">『三木市非核平和都市宣言』</p> <p>核兵器の廃絶と世界の恒久平和は、わたしたちの永遠の願いです。</p> <p>しかし、今なお、世界においては戦争があり、最大の殺りく力となる核兵器が存在し続けています。</p> <p>世界唯一の被爆国として、その悲惨さを語り継いでいくことはわたしたちの責務であるとともに、核兵器のない平和な社会づくりの行動を続けていかなければなりません。</p> <p>被爆された皆様や戦争によって尊い命を亡くされた先人、そして多くのご遺族の深い悲しみに応えることはもとより、今を生きる全ての人の命をはじめ豊かな自然と文化を守り、核兵器のない平和な社会を永遠に引き継いでいくよう努めてまいります。</p> <p>そして、核兵器の不拡散と廃絶を全世界に向け強く訴え、ここに、三木市は「非核平和都市宣言」をいたします。</p> <p style="text-align: right;">平成22年3月17日 三木市</p>

<p>春日部市 (埼玉県)</p>	<p style="text-align: center;">春日部市非核平和都市宣言</p> <p>やすらぎと希望に満ちた幸せな日々を送ることは、わたしたち春日部市民の願いです。わたしたちは、この暮らしが脅かされることのないよう、平和な社会を目指しています。しかし、世界各地には核兵器を始めとする大量殺りく兵器が存在し、いまだに国際紛争、地域紛争、テロ行為等の武力攻撃が行われています。</p> <p>わたしたちは、市民の平和を願うところを結集し、ここに「非核平和都市」を宣言します。</p> <p>一 わたしたちは、幸せな日常生活を維持し、次の世代に引き継ぐため世界の恒久平和の確立を目指します。</p> <p>一 わたしたちは、核兵器や大量殺りく兵器の廃絶を強く望むとともに生命、身体、財産を脅かすあらゆる攻撃の排除に努めます。</p> <p>一 わたしたちは、日頃から地域でのつながりを深め、共に助け合い、平和のこころを広く伝えます。</p> <p style="text-align: right;">平成21年4月1日 春日部市</p>
<p>磐田市 (静岡県)</p>	<p style="text-align: center;">核兵器廃絶平和都市宣言</p> <p>世界の恒久平和は、人類共通の願いです。</p> <p>しかしながら、今も核兵器の拡散が懸念されており、世界各地で繰り返される紛争では現在も尊い命が失われ、多くの人々が傷ついています。</p> <p>わが国は、世界で唯一の被爆国として、広島と長崎の惨禍を二度と繰り返してはならないと全世界に訴え続けています。</p> <p>磐田市は、美しい自然と多くの文化遺産を未来へと受け継ぎ、全世界の人々が戦争のない平和な日々を送っていくためにも、すべての核保有国に対し核兵器の廃絶を訴え、かつ、わが国の非核三原則が完全に順守され、原子力が平和的に利用されること及び世界平和の実現を強く希求し、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。</p> <p style="text-align: right;">平成21年4月1日 静岡県磐田市</p>
<p>篠山市 (兵庫県)</p>	<p style="text-align: center;">非核平和都市宣言</p> <p>豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統文化に彩られたわがまち篠山。</p> <p>愛すべきふるさとに生きるすべての市民の願いは、安心・安全・平和な暮らしです。</p> <p>しかし、この願いに反し、世界各地では、戦争や紛争で傷つき、命を失い、家族を奪われるなど、今なお戦禍はつきません。</p> <p>また、先の大戦においては、ここ篠山に設置された連隊からも多くの兵士が激戦の地に赴きました。</p> <p>戦後、わが国は、全世界の国民が平和のうちに生存する権利と国民主権及び人権尊重を憲法に明記するとともに、戦争における唯一の被爆国として、地球規模の破壊を招く核兵器は持たず・作らず・持ち込ませずの「非核三原則」を国是としてきました。</p> <p>篠山市はここに、非核平和都市であることを宣言し、悲惨な戦争が繰り返されることのないよう、平和への不断の努力と施策の推進に努めます。</p> <p style="text-align: right;">平成 21 年 2 月 19 日 篠 山 市</p>

<p>柏崎市 (新潟県)</p>	<p style="text-align: center;">柏崎市核兵器廃絶平和都市宣言</p> <p>柏崎市は、米山、黒姫、八石の山々と日本海の美しい自然に恵まれた、歴史と文化が息づくまちとして、人々の暮らしを大切にしながら発展してきました。</p> <p>この自然豊かな、住みよいふるさとを育み、次の世代に引き継ぐことは、私たち市民の使命です。また、世界の恒久平和を実現し、豊かな地球を守ることは人類共通の願いです。</p> <p>しかし今なお、この地球上では悲惨な武力紛争が絶えず、多くの核兵器が存在するなど、人類の平和が脅かされています。私たちは、世界で唯一の被爆国の国民として、日本国憲法の理念に則り、地球上のあらゆる核兵器の廃絶と平和な世界の実現を強く望むものです。</p> <p>私たちは、平和を愛する世界の人々とともに、未来を担う子どもたちと美しいふるさとのために、市民一人ひとりが平和の実現に向けて努力することを誓い、ここに柏崎市を「核兵器廃絶平和都市」とすることを宣言します。</p> <p style="text-align: right;">平成22年1月1日 新潟県柏崎市</p>
----------------------	--